

高等教育活性化シリーズ 169 (通算 469 回)

2010 年 8 月 4 日 (水)

大学・短大における深化—

キャリア・職業教育の基本と新展開

教授法・FD シリーズ 20 (通算 471 回)

2010 年 8 月 26 日 (木)

学士課程教育の実質化—

授業・学習活動の進化とポートフォリオⅡ

大学・短大における深化—

キャリア・職業教育の基本と新展開

～教養・専門教育、課外教育との連携／学生・企業とのミスマッチ防止～

- ※ リカレント時代の“大学と職業”の新たな接続／就職問題の実相／教養・専門教育での実質化
- ※ 学術性と職業性の統合／長期的な職業的有用性／インターンシップ等の就職力育成Pの実際
- ※ [関西大] 生涯キャリア支援としてのK-CEPの検証／“School to Work”の標準化
- ※ [島根大] 「1,000 時間体験学修」という装置／必修化とインパクト／「成熟性」教育とその成果

● 講師陣 ●

- 高祖 敏明 氏 / (学) 上智学院 理事長
日本学術会議 大学と職業との接続検討分科会 委員長
- 吉本 圭一 氏 / 九州大学大学院 人間環境学研究院 教授
中央教育審議会 キャリア・職業教育特別部会 委員
日本インターンシップ学会 会長
- 吉原 健二 氏 / 関西大学 キャリアセンター事務局長
- 高岡 信也 氏 / 島根大学 教育学部 教授・前学部長

2010 年 8 月 4 日 (水) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)

学士課程教育の実質化—

授業・学習活動の進化とポートフォリオⅡ

～学生への“自学自習”支援による“総合力”の育成～

- ※ 自己成長型教育～KIT ポートフォリオシステムの全学的展開と実績
- ※ 学習到達目標・シラバスの進化／e ポートフォリオの活用方策
- ※ ラーニングポートフォリオ～役割と実践、作成と評価、導入シナリオ

● 講師陣 ●

- 藤本 元啓 氏 / 金沢工業大学 学生部長・教授
- 岩井 洋 氏 / 帝塚山大学 経済学部 教授
- 土持ゲーリー法一 氏 / 帝京大学 総合教育センター 教授

2010 年 8 月 26 日 (木) 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)



[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 169 「キャリア・職業教育の基本と新展開」
 2010年 8月 4日(水) 9:40~16:50
 会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町)
 東京都千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)

日時 : 教授法・FDシリーズ 20 「授業・学習活動の進化とポートフォリオⅡ」
 2010年 8月 26日(木) 9:40~16:50
 会場 : 中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)
 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5 TEL 03(3292)3111
 (JR「お茶の水」駅徒歩3分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B1出口 徒歩3分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声 CD 送付)
高等教育活性化シリーズ 169 キャリア・職業教育の基本と新展開	42,000 円 (消費税込)	43,000 円(送料、消費税込)
教授法・FDシリーズ 20 授業・学習活動の進化とポートフォリオⅡ	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2010年 月 日

■高等教育活性化シリーズ 169 キャリア・職業教育の基本と新展開

当日参加 メディア参加

■教授法・FDシリーズ 20 授業・学習活動の進化とポートフォリオⅡ

当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(郵便振替 当日払い 銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40) 11:10	<p>□ リカレント学習時代における大学教育と職業との新たな接続 ～「大学と職業との接続検討分科会」からの提案～ (学) 上智学院 高祖 敏明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学と職業との接続検討分科会のミッション <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会の誕生 (2) 三つの分科会が検討してきたこと (3) 参照基準・教養教育との関連 2. 若者がいま直面している就職問題の実相 <ol style="list-style-type: none"> (1) 進路別大学卒業生数の推移 (2) 問題状況の背景を読む (3) 必要な若者の移行問題についての発想の転換 3. 大学と職業との新しい接続の在り方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 就職・採用活動に何が起きているのか (2) 必要なのは対応策の枠組みの転換 (3) 学生に対する支援の充実 4. 目指すべき社会を展望した就職・採用活動の実質化を <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学教育の職業的意義の向上を (2) 「新卒要件」を緩和し、柔軟な「専門職」採用を (3) リカレント学習の拡大とセーフティネットの構築を (質疑応答)
11:20) 12:40	<p>□ 大学・短大のキャリア教育・職業教育とは如何なるものか ～インターンシップ等の就業力育成プログラムの位置づけを巡って～ 九州大学大学院 吉本 圭一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題の設定と背景 <ol style="list-style-type: none"> (1) キャリア教育と職業教育－中央教育審議会特別部会の審議経過から－ (2) 企業・経済界・市場の構造と変容 (3) 高等教育の多様化 2. インターンシップの普及とキャリア教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会人基礎力からエンプロイアビリティまで (2) キャリア教育と社会的文脈に則した学習 (3) インターンシップによる大学と地域への相互作用 3. 大学・短大はどこまで職業教育を担えるか <ol style="list-style-type: none"> (1) 職業教育の定義(目的・方法・統制) (2) 大学・短大の目的規定と職業への関わり (3) 職業関係ステークホルダーの大学・短大への関与 4. 大学教育の長期的な職業的有用性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 国際比較にみる日本のキャリア形成と30歳社会的成人 (2) 効用の遅効性を踏まえた大学教育の拡張性 (3) 大学・短大における学術性と職業性の統合について (質疑応答)
13:40) 15:10	<p>□ [関西大] 総合大学における標準型キャリア教育の展開 ～学生一人ひとりの勤労観・職業観を育む関西大学キャリア教育プログラム(K-CEP)～ 関西大学 吉原 健二</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代学生気質を捉える <ol style="list-style-type: none"> (1) 要請される社会人基礎力と現代学生気質 (2) 学校と家庭との関係に潜む教育力弱化 (3) 地域社会の教育力低下 2. “School to Work” を図るキャリア形成・就職活動支援の標準化への挑戦 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学の前に (2) 大学とともに～キャリア支援V段階システムの実践～ (3) 大学の後に 3. 取組み成果の検証と仮題 <ol style="list-style-type: none"> (1) K-CEPの歩みとプラスの展開 (2) 問題点と検討課題 (3) 改正設置基準の施行に向けて 4. 現状の大学生の就職・採用活動がもたらす国家的危機 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学教育の空洞化を防げ (2) 早期化・長期化に起因する日本社会の損失 (質疑応答)
15:20) 16:50	<p>□ [島根大] 「1,000時間体験学修の必修化」が生み出すインパクト ～教師教育専門学部のアイデンティティの確立をめざして～ 島根大学 高岡 信也</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「第三の教員養成改革」を実現する－プロローグ－ <ol style="list-style-type: none"> (1) 「あり方懇再編」の優等生 (2) 「免許法依存」からの脱却－教師教育の質を変える－ (3) 「改革」はフルスイングで 2. 「1,000時間体験学修」という装置 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医師養成と教師養成－彼我の違いへの着目－ (2) 「1,000時間体験学修」とは－内容、組織、記録、評価－ (3) 「1,000時間体験学修」が生み出した「意外な」効果 3. GPプログラムへの積極参入が生み出した改革意欲 <ol style="list-style-type: none"> (1) GPへのトライは何のために－「若手」のチャレンジャー (2) 「目標」は一つ！－地方からの改革、教師教育は変わる！－ (3) 「教師になる」という意欲、「教師にする」という楽しみ 4. 「学士課程教育の質保証」を考える－エピローグ－ <ol style="list-style-type: none"> (1) 「成熟性」への教育を実現する (2) 学んだ成果を「可視化」する (質疑応答)

時間	講義項目
9:40) 11:40	<p>□ 自己成長型教育「アクロノール・プログラム」 ～KITポートフォリオシステムの全学的展開と修学支援～ 金沢工業大学 藤本 元啓</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標の階層化と明確化 2. 教育・評価システム <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習支援計画書 (2) 総合力評価 (3) 授業アンケート 3. 初年次教育とKITポートフォリオシステム <ol style="list-style-type: none"> (1) 金沢工業大学の初年次教育 (2) KITポートフォリオシステムの分類 4. 「修学基礎ⅠⅡⅢⅣ」と修学ポートフォリオ <ol style="list-style-type: none"> (1) 「修学基礎ⅠⅡⅢⅣ」の概要 (2) 修学ポートフォリオ「1週間の行動履歴」 (3) 修学ポートフォリオ「各学期の達成度自己評価」 (4) 「修学基礎」に関する授業アンケート 5. その他のポートフォリオ <ol style="list-style-type: none"> (1) キャリアポートフォリオ (2) 自己評価レポートポートフォリオ (3) プロジェクトデザインポートフォリオ (4) 各学年の達成度評価ポートフォリオ (5) KITポートフォリオシステム概念図とその運用から期待される効果 6. 修学支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 課外教育環境 (2) コース制学習クラス編成と各種教育センター 7. 自己成長型教育「アクロノール・プログラム」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習成果の数値統計 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
12:40) 14:40	<p>□ 学習到達目標とeポートフォリオの活用 ～学士課程教育における学びと教育の「見える化」にむけて～ 帝塚山大学 岩井 洋</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習到達目標の意味と意義 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習到達目標の意味 (2) 学習到達目標の作成方法 (3) 学習到達目標と教育改善 2. eポートフォリオの活用 <ol style="list-style-type: none"> (1) eポートフォリオの活用の意義 (2) eポートフォリオの導入事例(国内・国外) (3) eポートフォリオにおけるリフレクション 3. 学びと教育の「見える化」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習到達目標・シラバス・eポートフォリオ (2) 「見える化」とFD効果 (3) 「見える化」を通してのアセスメント 4. eポートフォリオ導入の課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) コンセンサスの問題 (2) 人的・財政的資源の問題 (3) 技術的問題 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
14:50) 16:50	<p>□ ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策 ～学習実践記録による学生の学習「省察」と改善～ 帝京大学 土持ゲーリー法一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ラーニング・ポートフォリオの役割 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新たな学生評価～NSSE「学生エンゲージメント」調査から (2) ラーニング・ポートフォリオの構成と測定範囲 (3) メタ認知による省察 (4) ラーニング・ポートフォリオの3タイプ 2. ラーニング・ポートフォリオの実践 <ol style="list-style-type: none"> (1) アメリカ～ズビラッテ教授の実践例 (2) 弘前大学～授業の実践例 3. ラーニング・ポートフォリオの作成と評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) ラーニング・ポートフォリオの作成方法 (2) ラーニング・ポートフォリオの評価方法 4. ラーニング・ポートフォリオの導入方策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 能動的学習を促す授業設計への転換 (2) MIT方式試験による学生参画 (3) ラーニング・ポートフォリオの可能性 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>